

幸手市立さくら小学校
学校運営協議会だより
 令和7年3月7日
 No. 21

2月28日(金)、6名の委員の方々と幸手市教育委員会学校教育課奥澤主幹兼指導主事にご出席いただき、今年度第4回の学校運営協議会を開催しました。

今回は、令和7年度の経営方針、行事計画、学校予算、令和6年度学校評価についてご報告し、経営方針についてご承認をいただきました。

また、来年度道德の重点項目設定のため、熟議で委員の皆様からご意見をいただきました。

学校からの報告事項

1 学校評価の結果について

2学期に、児童・保護者・教職員を対象に行った「学校の教育活動に関するアンケート」の結果について報告しました。

概ね肯定的な評価でありましたが、保護者では「タブレットの活用」「行事等への協力」、児童では「タブレットの活用」「家庭学習」、教職員では「PTAや地域の行事への参加」「働き方改革の推進」で否定的な評価が多いという結果でした。

2 令和7年度の経営方針

教育目標やめざす児童像は変更せず、知・徳・体バランスよく取り組んでいきます。

11月11日に、学力向上・道德の研究発表を行います。それに向けて、授業力を高め、全教育活動を結び付けていきます。
 ⇒委員の方々からご承認をいただきました。

3 令和7年度の年間行事計画について

主だった変更点を中心に説明しました。

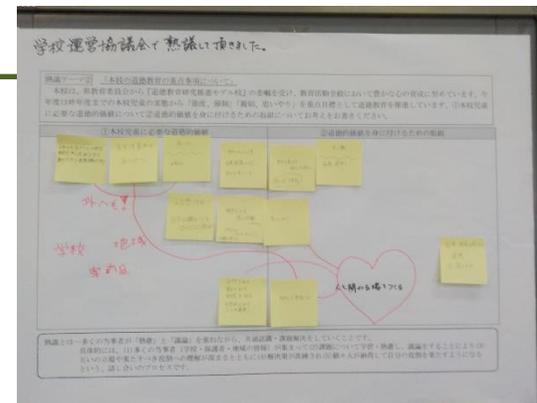
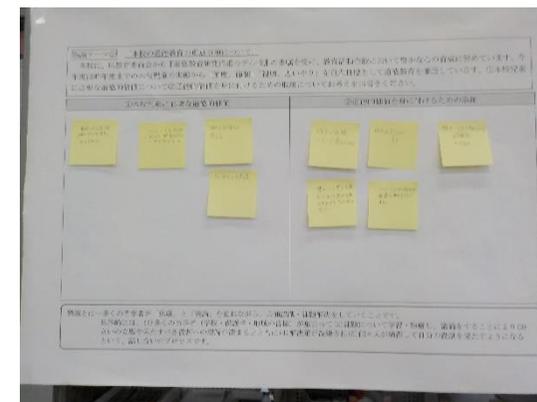
・6年生校外学習を6月に実施 ・授業公開は1日で全学年実施 ・特に1・2年生で授業時数を削減 ・全国学力学習状況調査は理科を含め3教科 ・埼玉県学力学習状況調査は4～6年生対象、タブレットを使用して実施

4 令和7年度の予算及び財務について

令和7年度予算について、要求額及び内容を市からの内示の状況を踏まえて説明しました。学校徴収金については、来年度、教材費の値上げ、及び旅行積立金の廃止を予定しています。また、未納者への対応に苦慮していることについて報告しました。

5 令和7年度の学校運営協議会について

規程では、委員の任期が原則として最長5年とされていることを説明し、委員の皆様に来年度のご意向について、書面での回答をお願いしました。



質疑応答

(ご質問) タブレットやSNSの利用により、先生方のストレスやメンタルが危惧されるが、対応はどうなっているのか。

(回答) ストレスの感じ方は人それぞれである。「やりがい」を感じてもらうことが大事、人間関係を良好にするよう話したり、授業力を高めることは楽しいことと捉えてもらうようにしたりと考えている。

(回答) 教育委員会としても、授業時数の削減、校務のDX化、支援員やサポートスタッフの配置等、教職員の負担軽減に努めている。また、ICT専門員による研修、地域の大人向け講座を実施している。

(ご質問) 学校徴収金に未納者には、なんとか払ってもらえないものか。

(回答) 個々の家庭の経済状況はわからない。就学援助制度を勧めたことはある。(兄弟関係があるため) 中学校とも連携して当たっている。

熟議「本校の道德教育の重点事項について」ご意見のまとめ

- 個人を大切にしたり、あいさつをしたり、老人を認めるとか、人に優しいことがまず一番大事である。
- いろいろな情報が錯綜する中、昔のやり方は通用しなくなっている。試行錯誤しながらやり直す、というように努力していくことが基本である。
- あいさつが一番重要。あいさつをすることで、礼儀、礼節、節制が身についていくのだと思う。家庭や出先ではあいさつができないことが課題である。
- 人を思いやる心を育てなければいけない。人と接する場が少なくなっているのだから、関わる場所を家庭や地域でつくれるといい。それによって、あいさつ、思いやり、郷土愛も育てるのではないかと。町内会・子供会・自治会などでそういうものがあるとよい。